

日本語学科におけるテレビドラマ教材の使用に関する一考察：中国と韓国を比較して

姚, 瑤
九州大学大学院比較社会文化学府

<https://doi.org/10.15017/4493113>

出版情報：比較社会文化研究. 26, pp. 45-56, 2009-08-31. 九州大学大学院比較社会文化研究科
バージョン：
権利関係：

日本語学科におけるテレビドラマ教材の使用に関する一考察

— 中国と韓国を比較して —

ヨウ
姚

ヨウ
瑤

要旨：

本稿では、中国と韓国の日本語学科学習者及び教師を対象とするテレビドラマ教材の使用状況に関する調査報告である。中国では日本語を専攻とする学習者は将来の各種通訳、翻訳家及び日本研究に関わる研究や教育などの専門家として養成されるため、日本語専攻学習者の日本語能力を向上させることは中国の日本語教育における重要な課題である。しかし、語学の形式と技能的な訓練が重視されている一方で、文化理解の学習や外国語コミュニケーション能力の養成は相対的に不足していると指摘された。筆者は「日本社会、文化の映す鏡のような存在であるテレビドラマ」を利用すれば、コミュニケーション能力を高められると考える。中国における日本語専攻のドラマ教材使用の実態とニーズを明らかにするためにアンケート調査を行った。さらに、世界一の日本語学習人口を擁する韓国の日本語教育と比較するために、韓国の日本語専攻学習者と教師にも同じ質問紙調査を行って、調査結果を分析した。

結果として、以下の4点が明らかになった。(1) 学習者側の調査結果から見ると、中国も韓国もテレビドラマ教材の使用を強く希望している。(2) 教師側の調査結果から見ると、中国はテレビドラマ教材使用の必要性を感じているのに対して、韓国は必要性が少ないと考える。(3) ドラマを視聴する際に中国学習者は「日本語コミュニケーション」を重視するのに対して韓国は「ドラマのストーリー」を重視する。(4) ドラマを選ぶ際にも、中韓の差も見られた。中国学習者は「社会問題」と「家族愛」に関するドラマに集中するのに対して、韓国学習者は「純愛」を選んだ人が最も多かった。

1. はじめに

本稿は、中国と韓国の日本語学科学習者及び教師を対象とするテレビドラマ教材の使用状況に関する調査報告である。中国では日本語を専攻とする学習者は将来の各種通訳、翻訳家及び日本研究に関わる研究や教育などの専門家として養成されるため、日本語学科学習者の日本語能力を向上させることは中国の日本語教育における重要な課題である。しかし、中国の日本語学科では語学の形式と技能的な訓練が重視されている一方で、文化理解の学習や外国語コミュニケーション能力の養成相対的に不足していることと指摘されている¹ (倪, 2006)。

コミュニケーション能力には①文法能力、②社会言語能力、③談話能力、④ストラテジー能力という4つの領域の

知識と技能が含まれるというⁱⁱ (Canale, 1983)。4つの技能がバランスよく上達しなければ、コミュニケーション能力が高まったとは言えない。岡崎(2001)は中国人学習者の日本語学習の動機について、Horwitzの1987年に開発したBALLIを用いて「BELIEFS」調査を行っている。その調査の結果によると、中国人JFL学習者の多くは道具的動機ⁱⁱⁱを持って日本語学習を行い、日本語ができれば就職のチャンスも増えると考えていることが分かった。また、岡崎(2001)は「使う機会がない外国語は勉強する意味がないと考えている学習者も多いことから、中国人JFL学習者の多くは、実際的かつ実用的な日本語運用能力の習得を求めていると言えそうである」と述べている^{iv}。しかし、中国人JFL学習者は日本人と実際にコミュニケーションを行う機会がまだまだ少ないとは言えよう。そこで、筆者は「日

i 倪(2006: 37)

ii Canale, M. (1983: 2-27)

iii 道具的動機 (instrumental motivation) を持つ学習者は、就職や社会的地位の向上などの実利的な目標を意識しているのに対して、統合的動機 (integrative motivation) を持つ学習者は、第二言語を話す人々や社会への一体化を望む傾向が強い。(西川, 2004)。

iv 岡崎他(2001: 28)

本社会、文化の映す鏡のような存在であるテレビドラマ」^v (熊谷、2003) を利用すれば、コミュニケーション能力を高められると考える。日本語教育によるドラマ教材の可能性に関する研究は他にも数多く行われている(水原、1999 ほか)が、管見の限り、中国の大学における日本語学科でのドラマ教材の利用状況に関する研究は限られている。

本稿では、中国の3大学における日本語学科の学習者、教師を対象とするテレビドラマ教材に関する質問紙調査を行った。さらに、世界一の日本語学習人口を有する韓国の日本語教育と比較し、中韓の差異はあるのか、あるならどのように異なるのかを明らかにするため、韓国の日本語学科学習者と教師にも同じ質問紙調査を行った。

本稿では、質問紙調査において中国と韓国の日本語学科におけるドラマ教材の利用状況の異同に焦点をあて検討することを目的とする。

2. 調査方法

筆者は2007年9月～11月と2008年9月～10月の二回にわたって中国と韓国の日本語学科の学習者、教師を対象として調査を行った。

第1段階 中国江西省の3大学(南昌大学、江西師範大学、江西財経大学)の日本語学科の教師と学習者に対する質問紙調査。

2007年9月～11月、筆者は3大学12名の中国人教師(以下CT)と同3大学の299名の学習者(以下CS)を対象に、コミュニケーション能力養成のための「テレビドラマ教材を利用する授業」に関する質問紙調査を行った。この3大学は学生数、教師の資質や施設などが中国全国の平均にあたるため、調査対象とした。質問紙は郵送で行ったためCSアンケートの回収率は60.9%であった。本調査の質問内容については、①コミュニケーション能力養成に対するブリーフ、②ドラマの好む傾向、③「ドラマを利用する日本語授業」の実態、④「ドラマを利用する日本語授業」への改善要望について、選択及び自由記述という回答方法で行った。

第2段階 韓国・釜慶大学校の日本語学科の教師と学習者に対する質問紙調査。

2008年9月～10月、筆者は韓国・釜慶大学校の3名の日本人教師、1名の韓国人教師(以下KT)と54名の学習者(以下KS)を対象に、第1段階と同じ内容の質問紙調査を行った。筆者が直接韓国でアンケート調査を実行したため、KSアンケートの回収率は100%であった。

3. 調査結果

3.1. 学習者に対するアンケートの調査結果と考察^{vi}

(1) 中韓日本語学科学習者の共通点

1) コミュニケーション能力向上への要望

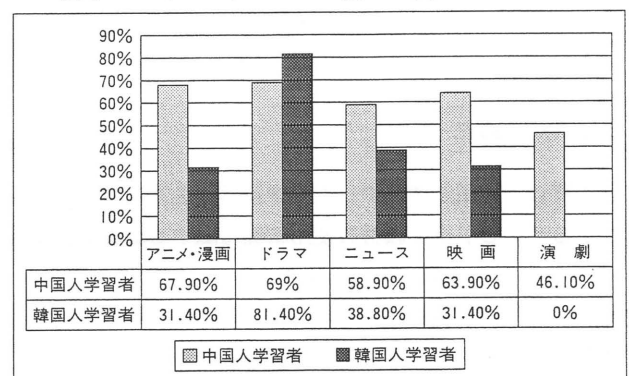
「日本語によるコミュニケーション能力を高めたいと思っているか」という質問の結果から見ると、CSは日本語によるコミュニケーション能力向上を「非常に望んでいる」を選んだ人は90%以上に達する。KSもほぼ全員「非常に望んでいる」を選んだ。中国も韓国も学習者が日本語によるコミュニケーション能力の養成に対して期待が大きいことがわかった。

2) 日本語によるコミュニケーション能力を高める映像情報

「日本語によるコミュニケーション能力を高めるためにどのような教材が有効と思いますか」という質問の回答から見ると、CSが多く利用しているのはテレビドラマ・映画、アニメ・マンガである。そのうち、学習者にとって、最も有効な映像情報は「テレビドラマ」である。

KSは54名中44名がテレビドラマを選んだ。ニュース21名、映画、アニメ各17名、バラエティー番組は8名であった。演劇を選ぶ学習者は1名もいなかった。CSとKSはテレビドラマをコミュニケーション能力を高める映像情報として捉えていることがわかった(図1)^{vii}。

図1 コミュニケーション能力を高める映像情報



テレビドラマを選んだ理由として、CSとKSで一致しているのは「日常会話を自然に身につけることができること」である。

3) 日本のテレビドラマの字幕について

字幕の種類については、保崎(2002)によれば、よく知られる字幕は3種類があるという^{viii}。日本語教育の場合の字幕に関して、筆者は保崎(2002)の分類を基づいて表1

v 熊谷(2003:6)

vi 学習者のアンケート用紙は参考資料1参照

vii 本稿図1～図7は筆者による作成したものである。

viii 保崎(2002:58～59)

のようにまとまる。

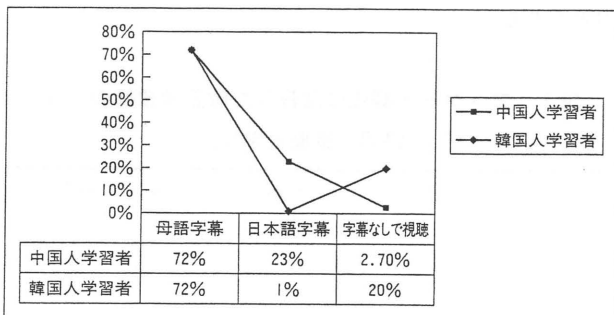
表 1^{ix} 字幕の種類と言語

	音声言語	字幕言語
標準字幕	学習対象言語(日本語)	母語(中国語)
逆字幕	母語(中国語)	学習対象言語(日本語)
二重字幕	学習対象言語(日本語)	学習対象言語(日本語)

学習者にとって、テレビドラマの内容を理解し、楽しむためには、かなりの日本語力が必要となる。調査によると、「母語字幕」で視聴するCS、KSともに72%であった。「日本語字幕」で視聴するCSは3、4年生が割合が多く、平均23%であった。

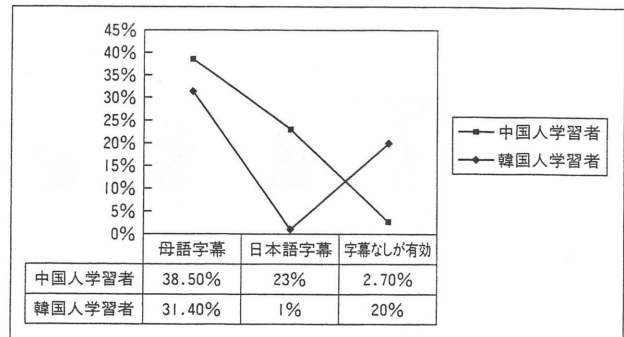
一方、「日本語字幕」で視聴するKSは1名のみであった。「字幕なし」で視聴するCSは極めて少ないのに対して、KSは20%であった。中韓両国の学習者は母語で視聴する比率はほぼ同じだが、「日本語字幕」と「字幕なし」で視聴する学習者の人数は逆であった(図2)。

図 2 テレビドラマを視聴する時利用する字幕



「どの字幕が日本語学習に有効か?」という質問については、38%のCSと31%のKSは「母語字幕」が有効と答えた。23%のCSが「日本語字幕が有効」と答えているのに対して、KSで有効性を認めているのは1名のみであった(図3)。一方、「字幕なしが有効」を選んだのはKSが20%、CSは2.7%であった。学習者はドラマの娯楽性だけでなく、日本語学習への有効性にも注目しているため、日本語学習に有効な字幕で視聴していると考えられる。したがって、授業でテレビドラマを使用する際に、教師は学習者の学習スタイルやレベルなどを考慮し、中国では日本語字幕で、韓国では字幕なしを中心にテレビドラマを使用する必要があるだろう。

図 3 テレビドラマを視聴する時有効な字幕



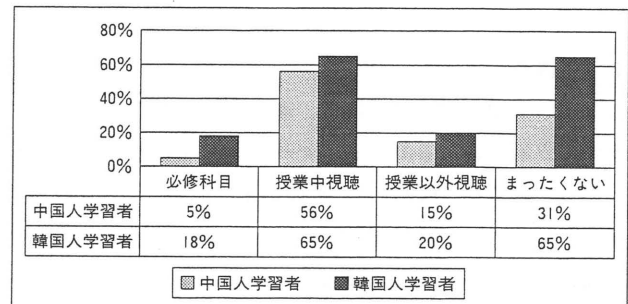
しかし、なぜKSは「日本語字幕」を頼らなくて、直接「韓国語字幕」から「字幕なし」へ移行するか、原因はまだ解明に至っていない。今後さらに追及していく必要があると思う。

4) 「テレビドラマを利用する授業」の現状

中国の日本語学科が必修科目として行っている「日本語教材としてのテレビドラマを利用する授業」は全体の5%に満たない(図4)。「授業の中あるいは授業以外の時間に気分転換として学習者にドラマを観せる」教師が多数いる。(教師アンケートの回答より)

韓国の日本語学科も同様で、「まったくない」と「ドラマを観せるだけ」は65%を占めているが、必修科目として行っているのはわずか18%にすぎない。

図 4 テレビドラマを利用する授業の現状

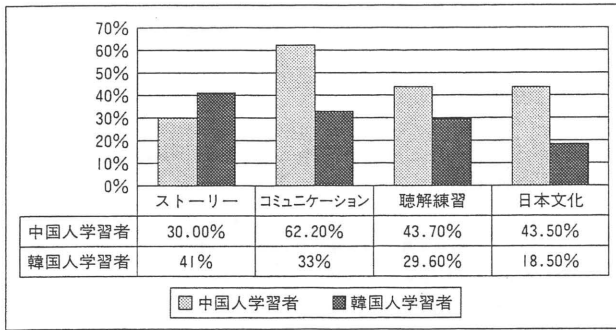


5) ドラマの内容について

学習者のニーズがわかれば教師側もニーズに応じてより効率的に教えることができる。「ドラマを視聴する際に何に関心を持つのか」という質問に対し、CSは平均62.2%が「日本人のコミュニケーション方式」を選んだ。「(ドラマの)ストーリー」を選んだ人は少なく、30%である。KSは「日本人のコミュニケーション方式」を選んだ人は33%であった。「(ドラマの)ストーリー」を選んだ人は41%に達した。CSの回答には最も少なかった「ストーリー」がKSには最も重視される部分のようである。

ix 本稿表1～3は筆者による作成したものである。

図5 テレビドラマを視聴する時間関心を持つ部分



6) 「テレビドラマを利用する授業」の内容について

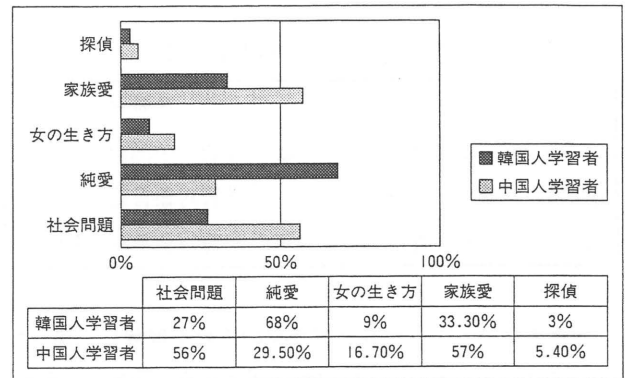
「テレビドラマを利用する授業」に対する具体的な要望という自由記述の質問には多数の意見があった。このうち、CSに多かった意見は以下の5点である。①ドラマを視聴するとき、ストーリーの背景及び日本人のコミュニケーション方式を紹介してもらいたい。②ドラマの主題曲を教えてもらいたい。③ドラマ内容を再現する演劇をしたい。④日常生活に近いドラマを見たい。⑤「必修科目」として設けてもらいたい。

KSに多かった意見は以下の4点である①学生が自分でドラマを再現して演じたい。②日本語の学習に役に立つ部分だけを選んで授業してもらいたい。③1、2年生は母国語字幕で、3、4年生は日本語字幕であるいは字幕なしで勉強したい。④日本の文化、コミュニケーションの方法はテレビドラマを通して教えてもらいたい。

(2) 相違点

1) ドラマの内容について、筆者「どのようなテレビドラマが日本語によるコミュニケーション能力を高められると思っているか」を設けた。その結果、CSとKSの違いが見られた。「社会問題に関するドラマ(以下:社会問題)」、「純愛ドラマ(以下:純愛)」、「女の生き方に関するドラマ(以下:女の生き方)」、「家族愛に関するドラマ(以下:家族愛)」、「探偵ドラマ(以下:探偵)、5つのジャンルの中で、CSに最も多かった選択肢は「社会問題」で、65%であるが、KSは27%であった。一方、CSでは選択率の41%だった「純愛」は、KSでは68%であった。

図6 テレビドラマの種類



2)好きなドラマについて、CSで回答が多かったものは①「東京ラブ・ストーリー」②「ロングバケーション」③「ビューティフルライフ」である。これらのドラマはいずれも1990年代～2000年代前半の作品である。KSで回答が多かったのは①ごくせん②のだめカンタービレ③ホテルノヒカリである。これらのドラマはほとんどが2005年以降に放送されて、比較的新しいドラマである。

3.2. 教師に対するアンケートの調査結果と考察^x

今回の調査は韓国側の教師(以下KT)4名及び中国側の教師(以下CT)12名を調査対象とした。表2と表3はその内訳である。

表2 アンケート調査に回答した韓国側教師の内訳 (韓国:釜慶大校)

教師	性別	年齢(歳)	日本語教育歴(年)	滞日歴(年)
KT 1	女(日本)	28	1	—
KT 2	女(日本)	29	3	—
KT 3	男(日本)	29	4	—
KT 4	女(韓国)	45	15	0.5

表3 アンケート調査に回答した中国側教師の内訳 (中国:南昌大学、江西師範大学、江西財経大学)

教師	性別	年齢(歳)	日本語教育歴(年)	滞日歴(年)
CT 1	男	41	2	8.5
CT 2	女	29	2	4
CT 3	女	27	3	0.5
CT 4	男	39	5	10
CT 5	男	33	5	1

x 教師のアンケート用紙は参考資料2参照

CT 6	女	29	5	1.5
CT 7	女	28	5	0.5
CT 8	男	30	6	1
CT 9	男	31	7	0
CT10	女	30	8	2
CT11	女	35	11	1
CT12	女	39	14	3

1) 「映像を利用する日本語授業」の現状

中国側は12人のうち8人の教師が現在「映像を利用する日本語授業」を行っている。そのうち、必修科目として行っているのは7人、授業中自分で用意した映像を使うCTは1人である。選択科目として行うCTはいなかった。大部分のCTは自分で教材を用意しており、教材については「ほとんどは生活の題材で、経済、社会などの専門用の教材はあまりない」「十数年前の教材を使っている授業もある」と述べていた。教材の不足と古さがよい教室活動を展開するのに大きな支障となっている可能性がある。

KTで「映像を利用する日本語授業」を行っているのは1人である。KTは選択科目として映像を使っているが、「教材は授業の目標に部分的にしか合っていない」と答えている。

2) テレビドラマを教材として利用している状況

① テレビドラマ教材の有無

テレビドラマ教材の有無の質問に対して、12人のCTのうち、テレビドラマを教材として利用しているのは9人である。CTはテレビドラマを教材として使っていないCTは3人であった。4人のKTのうち、テレビドラマを教材として利用しているのは1人であった。

② テレビドラマの字幕

ドラマ教材を使用する際に、12人のCTのうち、8人が中国語字幕で、4人が日本語字幕で見せると答えた。字幕なしで見せる教師は1人もいなかった。日本語の学習に有効な方法に関して、半数のCTが「字幕なし」が有効と考えている。「日本語字幕」を選んだ教師はわずか2人で、「中国語字幕」を選んだ教師は4人であった。韓国は「字幕なし」と「日本語字幕」を選んだ教師はそれぞれ2人であったが、「韓国語字幕」を選んだ教師はいなかった。

③ テレビドラマで行う教室活動

CTはテレビドラマを利用した活動についてはCTが「学生に見せた後感想を發表させた」と「ドラマ内容に関する質問を聞く」がほとんどであったのに対して、KTは「見せるだけ」であった。

3) テレビドラマの教材化への要望

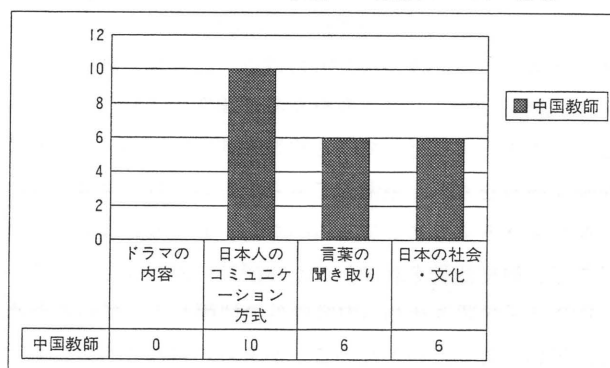
「非常に望む」と「まあまあ望む」を選んだCTは11人で

90%以上に達している。一方、KTは「まあまあ望む」が3人で、「あまり望まない」が1人であった。

4) テレビドラマの内容について

CTは12人のうち、10人がテレビドラマを通して学習者に「日本人のコミュニケーション方式」を勉強させたいと考えており、テレビドラマを通して日本語によるコミュニケーション能力を向上できるという効果を認めていることがわかった。また、KT1、KT3、KT4が「日本人のコミュニケーション方式」を選んでいるが、KT2は「その他」を選び、コメントとして「ドラマを使用する予定がないが、するとしたら、視覚、聴覚両方を通して日本語会話やその雰囲気をつかんでもらうため」と答えている。

図7 テレビドラマを通して勉強させたい部分



日本語学習に有効なテレビドラマの種類については、「社会問題」を選んだCTは12人のうち11人で、「家族愛」を選んだのが半数の6人であった。ほかの選択肢を選んだCTはいなかった。一方、「家族愛」を選んだKTは3人で、「社会問題」を選んだのは1人であった。この違いが何に起因するのか、現時点では解明するに至っていないが、中国及び韓国の社会背景や価値観などと何らかの関連性がないのか、今後は1つの課題として追究していく必要があると思う。

5) 「テレビドラマを利用する授業」の重要性および改善のための提言

① テレビドラマ教材化の重要性

「ドラマを利用する授業はとても重要だ」と考えているCTは以下の理由を述べている。

A 日本社会・文化の理解に利用することができる。B 言語能力を高めるだけでなく、コミュニケーションの仕方が理解できる。C 生きた日本語を学生に勉強させることができる。D 学生の聴解能力を高められる。

一方、KTはドラマの教材化に困難と疑問を感じている。理由は以下ようになる。

KT1 「韓国ではインターネットを通して、日本のドラマを学生が使用することができる。この日本のドラマが日

本語学習を始めるきっかけになっている学生も多い。わざわざ授業の中心に置く必要はないと思う。何か目的を明確にして利用しないと、見るだけになってしまう。」

KT 2 「学生は興味があるので、授業中に利用しなくても見る可能性がある。(ドラマなら)内容や面白い部分の印象は残るが、実際の会話や、見てほしい部分を見てくれるかは疑問、ドラマじゃなくてもいい気がする・・・」

KT 3 「ドラマ自体はとてもいい教材だと思いますが、ドラマを見ること自体の好き嫌い、また内容の選択が難しいので、個人的に授業で使うことはありません。」

KT 4 「どちらかと言えば重要だ。一般の日本語の授業では時間が充分じゃないので、1学期に一回ぐらいしか映像の授業ができない。」

②「テレビドラマを利用する授業」への要望と提言

CT は「テレビドラマを利用する授業」に対する要望と提言が多数あった。多かったものは以下の5つである。

- A 授業に合うドラマ教材を多く開発してもらいたい。
B 日本国内で流行っている映像を利用したい。C 映像を映す機械をもっと整備してもらいたい。D 字幕を自由に選択できるようにしてもらいたい。E 教員はまず自分で見て、教室活動を計画してから授業に臨むべきである。

KT は「学習させたい内容以外の情報が入っているために、思いどおりにいかないことがある。自然でかつおもしろい内容であるが、学習させたい内容に集中できるものだと使いやすいと思う」と述べた。

4. 終わりに

本稿では中国の3大学と韓国の1大学のみを対象に調査を行ったためテレビドラマ教材の利用状況の全体像を明らかにしたとは言えないが、一般的に存在している現状といくつかの問題点は明らかになった。

テレビドラマは補助手段として使われているが、教材化したものがほぼゼロに近く、この問題点は中国の日本語学科にも韓国の日本語学科にも存在する。その要因としては、正式な科目ではないため、決められた教材がない。さらに、日本語教育のために作られたドラマではなく、「学習させたい内容以外の情報も入っているために、思いどおりにいかないことがある」(KTのコメントより)。しかし、岡崎(1993)は日本語教育のために作られたビデオ教材に対して「日本語教育のために意図的に製作されたという性格が濃厚で、出演者の演技や会話の様態も、現実の場面に比していささか不自然感(作り物めいた感じ)を免れぬきらいがあることは遺憾ながら否定できない」という意見を述べている^{x1}。したがって、テレビドラマも「つくりもの」だが、

それは日本語会話について日本人がもっている様々なイメージを具現化したものであるため、より自然な日本語を身につけられると考えられる。

今後の課題としては、調査対象の補充と質問紙の設定である。今回は中国3大学、韓国1大学の学習者と教師を対象に調査を行ったが、学習者数も教師数も中韓の差があった。今後はもっと対象者を増やして比較したいと思う。質問紙の中で、コミュニケーション能力の定義をはっきり説明していないため、Canale(1983)が考えたコミュニケーション能力と学習者が理解しているコミュニケーション能力は一致していない可能性もある。今後は質問紙を設定する際に明確にする必要があるだろう。また、調査の手法については、PAC分析など質的研究の方法を使って、研究を深めていく必要があると思う。

また、学習者のニーズにあわせてどのようなドラマを、どのような字幕で見せるのが最も効果的であろうか。どのようにテレビドラマを使用すれば学習者のコミュニケーション能力を高められるだろうか。教室活動をどのように行えばテレビドラマの教材としての価値を最大限に利用できるか。日本語学習者のコミュニケーション能力を高めるために、テレビドラマをどのように使用するかなどの問題点を今後さらに追及していく必要がある。

参考文献：

- ・倪鏡(2006)：「中国における日本語教育について—高等教育日本語専攻を中心に—」、『日本語地域政策研究』、4号、日本地域政策研究学会
- ・Canale, M. (1983)：「From communicative competence to communicative language pedagogy. In J. C. Richard & R. W. Schmidt (Eds.)」, 『*Language and communication*』 Cambridge University Press.
- ・岡崎智己・大神智春(2001)、「コミュニケーション能力の育成を目指した教材開発—中国国内の日本語学習者を対象として—」、『九州大学留学生センター紀要』、12号
- ・熊谷智子(2003)：「シナリオのある会話—ドラマの日本語の特徴—」、『日本語学』、22号、明治書院
- ・岡崎正道(1993)：「ドラマ・漫画による日本語教育」、『*Arts liberales*』、53号、岩手大学人文社会科学部
- ・西川寿美(2004)：「第二言語習得/バイリンガリズム」、『新・はじめての日本語教育—基本用語事典』、アルク
- ・保崎則雄(2002)：「映像利用における様々な問題点と課題」、『映像の言語学』第二章、おうふう

x1 岡崎(1993:41)

- ・水原明人 (1999) : 「作る談話・脚本制作の現場」、『日本語学』、18巻11号

参考資料 1

テレビドラマ教材に関する意識調査 (学生用)

★ご回答に際してのお願い

- ・ 質問用紙の中の該当する選択肢の後ろの () に○を書き、空欄は適宜にご記入ください、また、特別の但し書きやコメントがある場合は、質問用紙の余白にお願いいたします。
- ・ 本調査は無記名で行います。回答は統計的な処理を行い、本調査・研究のためだけに利用します。従って、あなたのプライバシーが他に漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることはありません。お考えを素直にお答えください。本調査・研究へのご協力をお願いします。

問1 あなたの性別に○をつけてください

- ① 男 () ② 女 ()

問2 あなたの年齢を教えてください: () 歳

問3 あなたは今、何年生ですか?

- ① 一年 () ② 二年 ()
③ 三年 () ④ 四年 ()

問4 今まで、中学校、高校の日本語学習を含めて、あなたの日本語学習歴は () 年

問5 あなたは日本語を勉強する理由は何ですか。

- ① 将来就職のため ()
② 日本の文化に関する知識を得るため ()
③ 大学や資格試験の受験準備のため ()
④ 日本の政治、経済、社会に関する知識を得るため ()
⑤ 日本の科学技術に関する知識を得るため ()
⑥ 日本語によるコミュニケーションが出来るようになるため ()
⑦ 日本語という言語そのものへの興味 ()
⑧ その他 ()

問6 日本文化に関する知識は普段どのような方法で身に付けていますか。複数の回答でもかまいません。

- ① 「日本事情」科目
② 他の日本語科目
③ 日本の映画・ドラマ
④ 日本の漫画・アニメ
⑤ 中国国内の雑誌・新聞
⑥ インターネット
⑦ 日本人の友達・先生
⑧ その他 (具体的に_____)

問7 日本語学習によって日本語によるコミュニケーション能力を高めたいと思いますか?

ン能力を高めたいと思いますか?

- ① とても思う () ② まあまあ思う ()
③ あまり思わない () ④ ぜんぜん思わない ()

問8 日本語によるコミュニケーション能力を高めるためにどのような教材が有効とと思いますか? 複数の回答でもかまいません。

- ① 漫画・アニメ ()
② テレビドラマ ()
③ ニュース番組 ()
④ 映画 ()
⑤ バラエティー番組 ()
⑥ 演劇 ()

★その理由を具体的に書いてください。

問9 あなたは日本のドラマに興味を持っていますか?

- ① とても興味がある () ② まあまあ興味ある ()
③ あまり興味ない () ④ ぜんぜん興味ない ()

問10 あなたは日本のドラマ (日本語音声) を見たことがありますか?

- ① はい () ⇒問11
② いいえ () ⇒問14

問11 そのドラマはどこで見ましたか。

- ① 先生は授業中に見せてくれた ()
② レンタルビデオを借りた ()
③ 書店で買った ()
④ 日本にいる友人/親戚からもらいました ()
⑤ その他 (具体的に_____)

問12 そのドラマは次のどれですか。

- ① 日本語字幕 ()
② 中国語字幕 ()
③ 字幕なし ()

問13 日本語字幕・中国語字幕・字幕なしの中、どちらが日本語学習に有効とと思いますか。

- ① 日本語字幕 ()
② 中国語字幕 ()
③ 字幕なし ()

問14 あなたは日本人に対するイメージはどこから形成されましたか。

- ① 日本語専攻の授業の中 ()
② 日本を紹介する本 ()

- ③ 日本の映画・ドラマ ()
 ④ インターネット ()
 ⑤ 日本の漫画・アニメ ()
 ⑥ その他 (具体的に_____)

問15 あなたの学校は日本の映画、テレビドラマを利用する授業がありますか。

- ① 必修科目として行なっている ()
 ② 先生は授業の時間で見せてくれるけど正式な科目ではない ()
 ③ 先生は授業以外の時間で見せてくれる ()
 ④ まったくない ()
 ⑤ その他 (具体的に_____)

問16 あなたは教材化した日本のテレビドラマを授業に取り入れてほしいと思っていますか。

- ① とても望む () ② まあまあ望む ()
 ③ あまり望まない () ④ まったく望まない ()

問17 ドラマを見ると、もっとも関心があるのは何ですか。

- ① ドラマの内容 ()
 ② 日本人のコミュニケーション方式 ()
 ③ 言葉の聞き取り ()
 ④ 日本の社会文化、風習 ()
 ⑤ その他 (具体的に_____)

問18 どのような日本ドラマは日本語によるコミュニケーション能力を高められると思いますか。

- ① 社会問題ドラマ () ② 純愛ドラマ ()
 ③ 女の生き方ドラマ () ④ 家族愛ドラマ ()
 ⑤ 探偵ドラマ () ⑥ その他 (具体的に_____)

問19 好きな日本ドラマの名前を5つ書いてください。

- ①
 ②
 ③
 ④
 ⑤

問20 理想な「ドラマを利用する授業」はどんなことが必要だと思いますか。下の選択肢からもっとも必要な3つ選んで、○を書いてください。

- ① 使うドラマ教材が面白い ()
 ② 先生が日本文化についての情報をたくさん紹介してくれる ()
 ③ 先生がドラマを見せるだけでいい ()
 ④ 先生がドラマについて、内容の質問、ストーリーの予想などいろんな教室活動を行なってほしい ()
 ⑤ 学生がドラマを見るだけ ()
 ⑥ 学生が自分の感想を話すことができる ()

- ⑦ 学生が自分でドラマを再現、演じることができる ()
 ⑧ 学生が授業の時実際に日本人と交流できる ()
 ⑨ その他 (具体的に_____)

問21 「日本ドラマを利用する授業」について、どんな要望がありますか。どのように教室活動をすればよいかなど、自由に書いてください。

ご協力ありがとうございます

参考資料 2

テレビドラマ教材に関する意識調査 (教師用)

★ご回答に際してのお願い

- ・ 質問用紙の中の該当する選択肢の後ろの () に○を書き、空欄は適宜にご記入ください。また、特別の但し書きやコメントがある場合は、質問用紙の余白にお願いいたします。
- ・ 本調査は無記名で行います。回答は統計的な処理を行い、本調査・研究のためだけに利用します。従って、プライバシーが他に漏れたり、ご迷惑をおかけしたりすることはありません。お考えを素直にお答えください。本調査・研究へのご協力をお願いします。

問1 性別に○をつけてください。

- ① 男 () ② 女 ()

問2 年齢を教えてください： () 歳

問3 日本語教育の教育歴を教えてください： () 年

問4 訪日・滞日歴： _____ (具体的な期間をご記入ください)

問5 貴校に「映像を利用する日本語授業」はありますか？

- ① ある (科目名等具体的に_____)

- ② ない ⇒問13へ進む

問6 (問5の答えで「ある」を選んだ方) ⇒問6～問12
貴校では「映像を利用する日本語授業」は次のどれですか。

- ① 必修 () ② 選択 ()
③ その他 (具体的に_____)

問7 ご担当の「映像を利用する日本語授業」のクラス数と学生数：

_____クラス 学生の総数_____人

問8 教室にはどんな機材がありますか (複数の回答でもかまいません)

- ① テレビ () ② ビデオ ()
③ VCD・DVD機 ()
④ カセット・テープ・レコーダー ()
⑤ コンピューター () ⑥ プロジェクター ()
⑦ インターネット ()

問10 現在使用している映像教材の教材名、出版社などをご記入ください。

教材名：_____

出版社：_____

著者：_____

問11 現在使用している教材は授業の目標に合っていますか。

- ① とても合っています ()
② 部分的に合っています ()
③ ぜんぜん合っていません ()

★その理由を具体的に教えてください。

問12 あなたは授業するとき、規定の教材以外にどんな補助教材 (映像教材) を使用していますか。具体的に教えてください。

★例：映画「鉄道員」；テレビドラマ「金八先生」

問13 普段どのような手段で日本についての情報を収集していますか。複数の回答でもかまいません。

- ① 「日本事情」の教科書 ()
② 教科書以外の本 ()
③ 日本の雑誌・新聞 ()
④ 日本のテレビ・ラジオ番組 ()
⑤ 日本の映画・ドラマ ()
⑥ インターネット ()
⑦ 日本漫画・アニメ ()
⑧ 中国の雑誌・新聞 ()
⑨ 日本人の友達 ()
⑩ 中国のテレビ・ラジオ番組 ()
⑪ その他 (具体的に_____)

問14 日本文化に関する知識は普段どのような方法で学生に身に付けさせていますか。該当するものがあれば○をつけてください。複数の回答でもかまいません。

- ① 「日本事情」科目 ()
② 他の日本語科目 ()
③ 日本の映画・ドラマ ()
④ 日本の漫画・アニメ ()
⑤ 中国国内の雑誌・新聞 ()
⑥ インターネット ()
⑦ 日本人と交流させる ()
⑧ その他 (具体的に_____)

問15 日本語によるコミュニケーション能力を高めるために映像教材は有効だと思いますか。有効だと思うものがあれば○をつけてください。複数の回答でもかまいません。

- ① 漫画・アニメ ()
② テレビドラマ ()
③ ニュース番組 ()
④ 映画 ()
⑤ バラエティー番組 ()

⑥ 演劇 ()

★その理由を具体的に書いてください。

問16 日本のドラマ(日本語音声)を教材として使ったことがありますか。

①はい ()

②いいえ ()

問17 そのドラマは次のどれですか。

① 日本語字幕 ()

② 中国語字幕 ()

③ 字幕なし ()

問18 日本語字幕・中国語字幕・字幕なしのうち、どれが日本語学習に有効だと思いますか。

① 日本語字幕 ()

② 中国語字幕 ()

③ 字幕なし ()

問19 そのドラマを使ってどのような教室活動を行ないましたか。複数の回答もかまいません。

① 見せるだけ ()

② 学生見た後感想を発表させた ()

③ ドラマ内容に関する質問を聞いた ()

④ グループを分けて討論させた ()

⑤ ドラマを演じさせた(ドラマの再現) ()

⑥ その他(具体的に_____)

問20 日本のテレビドラマを教材化することを望んでいますか。

① とても望む () ② まあまあ望む ()

③ あまり望まない() ④ まったく望まない()

問21 ドラマを学生に見せるとき、もっとも勉強させたいのは次のどれですか。

① ドラマの内容 ()

② 日本人のコミュニケーション方式 ()

③ 言葉の聞き取り ()

④ 日本の社会文化、風習 ()

⑤ その他(具体的に_____)

問22 日本のドラマのうち、どのようなテーマのドラマが日本語によるコミュニケーション能力を高められると思いますか。

① 社会問題 () ② 純愛 ()

③ 女の生き方 () ④ 家族愛 ()

⑤ 探偵 () ⑥ その他(具体的に_____)

問23 理想な「ドラマを利用する授業」にはどんなことが必要だと思いますか。下の選択肢からもっとも必要だと思うものを3つ選んで、○を書いてください。

① 使うドラマ教材が面白い ()

② 先生が日本文化についての情報をたくさん紹介してくれる ()

③ 先生がドラマを見せるだけでいい ()

④ 先生がドラマについて、内容の質問、ストーリーの予想などいろんな教室活動を行なってほしい ()

⑤ 学生がドラマを見るだけ ()

⑥ 学生が自分の感想を話すことができる ()

⑦ 学生が自分でドラマを再現、演じることができる ()

⑧ 学生が授業の時実際に日本人と交流できる ()

⑨ その他(具体的に_____)

問24 「日本ドラマを利用する授業」に対してどう考えていますか。一つ選んでください。

① とても重要だ ()

② どちらかと言えば重要だ ()

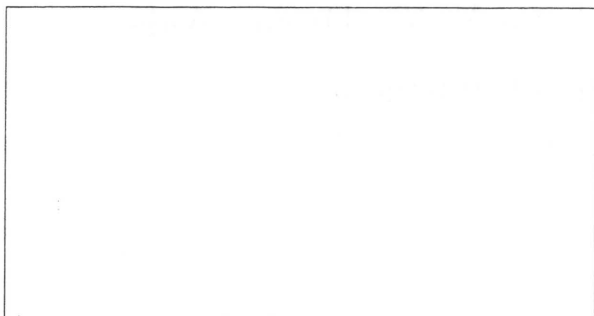
③ あまり重要ではない ()

④ ぜんぜん重要ではない ()

★その理由を具体的に書いてください

問25 今までの「映像を利用する授業」について、一番改善したいところは何ですか。またどうしてそのように考えていますか。

問26 今までの「映像を利用する授業」について、ほかの問題点や改善策など、ご意見があれば自由に書いてください。



ご協力ありがとうございました。

Investigation of the Using of the Video Drama Aids
for the Department of Japanese
— A Comparison between China and South Korea —

Yao YAO

Substance:

The research investigated the using condition of the video drama aids for the students and the teachers who belong to the department of Japanese in China and South Korea. It was an important subject to improve the ability of students who majored in Japanese and would be translators, interpreters or educational experts in the future in China. But the problem was that there was seldom existed the study of understanding the Japanese culture and the training of communication. I thought that it would improve the ability of the communication by using the video drama aids which reflected the Japanese society and culture. I made surveys of the actual conditions and the needs for the materials used in China. Furthermore, in order to compare them with South Korea which had the largest population of Japanese-learners I made the same surveys in South Korea as those in China and analyzed the results of the two surveys.

The research developed four respects as a result. (1) The students strongly hoped to use the video drama aids according to the results of the surveys in both countries. (2) The Chinese teachers thought that the materials were necessary but the South Korean teachers did not think so from the survey. (3) Chinese students made a point of Japanese communication while Korean students made a point of the content of the dramas when they used the video drama aids. (4) There was a distinction between the two countries when they chose the drama aids. Chinese students chose the dramas about social issues or family bonds but Korean students chose love story.